

第23課 感想與主張：ものだ・というもの だ・にすぎない・にほかならない・に越した ことはない・しかない・べきだ／べきではな い

第23課對應《新完全マスター N2》第1部「III 主観を述べる（表達主観）」的第23課，主題是「說感想、下斷語、提主張」。本課的七個句型都是替自己的看法上色：表達普遍道理或發出感嘆的～ものだ、替事物下定義的～というものだ、把程度壓低說「只不過」的～にすぎない、斷定唯一原因的～にほかならない、表達「最好還是...」的～に越したことはない、表達「別無他法」的～しかない／～よりほかない，以及主張理應如此的～べきだ／～べきではない。

■ 今課目標

- 用～ものだ 表達「本來就...（普遍道理）」與「真是...（感嘆）」，主語多為總稱的人事物。
- 用～というものだ 對某事物下斷語、評論，等於「這才叫...、這就是...」。
- 用～にすぎない 表達「只不過是...」，把程度說得低、微不足道。
- 用～にほかならない 斷定「正是...、無非就是...」，認定唯一的原因或本質。
- 用～に越したことはない 表達「最好還是...、莫過於...」，沒有比這更好的。
- 用～しかない／～よりほかない 表達「只能...、別無他法」。
- 用～べきだ／～べきではない 主張「應該／不應該...」，講理應如此的道理。

一、～ものだ：本來就...／真是...

■ 普遍道理，或一句感嘆

～ものだ 在這裡有兩個用法。一是講「一般而言本來就是這樣」的普遍道理、常識（一般的に見て、本來～だ）；二是面對眼前情況發出「真是...啊」的感嘆。主語通常不是某個別的人或事，而是總稱的對象（人間、親、世の中 等）。注意這個～ものだ 用現在形，不用過去形說某件單一往事（那是第26課的「回憶」用法），語感也不同于第24課「應當如此」的～ものだ。

■ 形式規則

動詞辭書形／ない形・イ形容詞い・ナ形容詞+な + ものだ。不用過去形；主語多為總稱的人事物（人間、親、世の中 等）。

■ 例句

1. どんなに親しい友達でも、言っ**て**はいけないことはある**もの**だ。
→ 再要好的朋友，本來就還是有些不該說的話。（普遍道理）
2. 人間は、追い詰められると思いがけない力を出す**もの**だ。
→ 人一旦被逼到絕境，本來就會發揮出意想不到的力量。（普遍道理）
3. 十年ぶりに故郷に帰ったが、町の様子は**ずいぶん**変わる**もの**だ。
→ 睽違十年回到故鄉，城鎮的模樣真是變了好多啊。（感嘆）

二、～というものだ：這才叫...

■ 替事物下斷語、評論

～というものだ 表示「從常識來看，這正是...、這才叫做...」，用來對某個狀況下斷語或加上評論（常識的に見て、まさに～だ）。常用在覺得對方的要求太離譜、某種做法太不講理時，作出「這就叫做...」的判斷。它表達的是說話人對事物的評斷，不用來直接陳述自己當下的感情。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞・名詞去掉 だ）+ というものだ。對狀況下「常識上就是...」的評斷；不用來直接表達說話人的感情。

■ 例句

1. 困っている人を見て見ぬふりをするなんて、冷たい**というもの**だ。
→ 看到有困難的人卻視而不見，這就叫做冷漠。
2. 一日でこれだけの仕事を終わらせろとは、無理**というもの**だ。
→ 要在一天內做完這麼多工作，這根本就叫強人所難。（名詞）
3. 失敗を全部部下のせいにするのは、責任逃れ**というもの**だ。
→ 把失敗全推到下屬身上，這就叫推卸責任。（名詞）

三、～にすぎない：只不過是...

■ 把程度壓得很低

～にすぎない 表示「只不過是...，僅此而已，沒有更多」（ただ～だけで、それ以上ではない）。說話人藉此表達「這個數字、身分或行為其實特別不了、不重要、份量很小」的看法，常帶有把事情往低處說的語氣。

■ 形式規則

名詞・普通形（ナ形容詞だ→である・名詞だ→である）＋ にすぎない。表達說話人覺得「不特別、不重要、份量小」。

■ 例句

1. 計画に賛成したのは、全体のわずか二割にすぎない。
→ 賛成這項計劃的，只不過佔全體的兩成而已。（名詞）
2. わたしはただ指示に従っただけにすぎません。
→ 我只不過是照著指示做罷了。（普通形＋だけ）
3. 今回うまくいったのは、運がよかったにすぎない。
→ 這次能順利，只不過是運氣好而已。（普通形）

四、～にほかならない：正是...

■ 斷定唯一的原因、本質

～にほかならない 表示「正是...、無非就是...，絕不是別的」（～だ。それ以外ではない），是說話人作出斷定的講法，常用來指出某事的唯一原因或真正本質，語氣堅定而書面。除了直接接名詞，也可以接「普通形＋から」來斷定「正是因為...」。

■ 形式規則

名詞＋ にほかならない；也可接「普通形＋から」＋ にほかならない（斷定唯一原因）。語氣堅定、書面。

■ 例句

1. この国の未来を支えるのは、今を生きる若者たちにほかならない。
→ 支撐這個國家未來的，正是活在當下的年輕人。(名詞)
2. 彼が成功できたのは、人一倍努力したからにほかならない。
→ 他之所以能成功，無非就是因為他付出了加倍的努力。(普通形+から)
3. 環境を守ることは、わたしたち自身の暮らしを守ることにほかならない。
→ 保護環境，正是在保護我們自己的生活。(名詞)

五、～に越したことはない：最好還是...

■ 沒有比這更好的

～に越したことはない 表示「(雖然不是非這樣不可) 但能這樣最好、莫過於這樣」(当然のことだが～ほうがいい)。它並不是說「絕對必須如此」，而是表達「這樣做沒有壞處、是最理想的選擇」這種帶有常識感的判斷。

■ 形式規則

普通形現在 (ナ形容詞だ→である・名詞だ→である) + に越したことはない。表達「不是非如此不可，但這樣最好」。

■ 例句

1. 同じ品質なら、値段は安いに越したことはない。
→ 品質一樣的話，價錢當然是越便宜越好。(イ形容詞)
2. 備えはしっかりしておくに越したことはない。
→ 事前的準備，做得越充分越好。(動詞)
3. 面接の場では、言葉づかいは丁寧であるに越したことはない。
→ 在面試の場合，用詞最好還是客氣一點。(ナ形容詞+である)

六、～しかない・～よりほかない：只能...

■ 別無選擇的唯一辦法

～しかない／～よりほかない 表示「除此之外沒有別的選擇、可能性或方法」(～以外に選択肢・可能性・方法がない)。多用來表達「沒有別的餘地，只好無奈地選這條路」的心情；不過也可以像主動下決心一樣，表達「就只有這個，那就選它」的積極語氣。

■ 形式規則

動詞辭書形 + しかない・よりほかない。表達「別無選擇，只好如此」，也可用於積極的「那就這麼辦」。

■ 例句

1. 終電を逃してしまったので、もう歩いて帰るしかない。
→ 錯過了尾班車，現在只能走路回家了。(無奈)
2. これだけ手を尽くしてだめなら、あとは結果を待つよりほかない。
→ 都已經想盡辦法還是不行的話，接下來也只能等結果了。(無奈)
3. こんなにいい条件の話は二度とない。ここは思い切って挑戦するしかない。
→ 這麼好的條件不會再有第二次，這時就只能放手一搏了。(積極)

七、～べきだ／～べきではない：應該／不應該...

■ 理應如此的主張

～べきだ 表示「做...才是理所當然的、應該要做」，～べきではない 則是「不應該做」(～するのが当然だ／～してはいけない)。這是說話人陳述主張、講道理的講法，用在「照道理就該這樣」の場合，而不是用在規則早已明文規定的事情上。動詞接辭書形，「する」例外可作 するべき 或 すべき。提醒：對上司、長輩，最好不要直接用 べきだ。

■ 形式規則

動詞辭書形 + べきだ／べきではない (する→するべき・すべき)；接名詞時用「動詞辭書形+べき・べきではない+名詞」。講道理、陳述主張，不用於明文規定的事；對長輩避免直接使用。

■ 例句

1. 約束した以上、最後まで責任を持つべきだ。
→ 既然答應了，就應該負責到底。
2. 確かな証拠もないのに、人を疑うべきではない。
→ 沒有確切的證據，就不應該隨便懷疑別人。
3. 初対面の人にそんな失礼な質問をすべきではない。
→ 對初次見面的人，不應該問那麼失禮的問題。(する→す+べき)

八、常見錯誤與總整理

斷語與主張類句型的分別

句型	核心意思	接續
～ものだ	本來就... (普遍道理) / 真是... (感嘆)	辭書形・ない形・イ形い・ナ形+な
～というものだ	這才叫...、這就是... (下斷語)	普通形 (ナ形・名去 だ)
～にすぎない	只不過是... (程度低)	名 / 普通形 (ナ形・名+である)
～にほかならない	正是...、無非就是... (斷定)	名 (也可普通形+から)
～に越したことはない	最好還是...、莫過於...	普通形現在 (ナ形・名+である)
～しかない / よりほかない	只能...、別無他法	動詞辭書形
～べきだ / べきではない	應該 / 不應該... (主張)	動詞辭書形 (する→するべき・すべき)

■ 常見錯誤

- **×** 若い頃は、よく徹夜で遊んだものだ。
○ **人間は、年をとると昔を懐かしむものだ。**
本課的 ~ものだ 用現在形講「普遍道理／感嘆」，主語是總稱對象；用過去形回憶自己的單一往事是第26課的用法，語感不同。
- **×** わたしは今、本当に悔しいというものだ。
○ **失敗を人のせいにするなんて、卑怯というものだ。**
というものだ 是對事物「下斷語、評論」，不能用來直接陳述說話人自己當下的感情。
- **×** 賛成したのは全体の二割にほかならない。
○ **賛成したのは全体の二割にすぎない。**
想說「只不過、份量很小」用 にすぎない；にほかならない 是「正是、無非就是」的斷定，意思相反。
- **×** 荷物は軽いに越したことはないので、絶対に三キロ以下にしなければならない。
○ **荷物は軽いに越したことはない。**
に越したことはない 表達「這樣最好」，並非「非如此不可」；要表達強制義務應改用 なければならない。
- **×** 学生は校則を守るべきだ。
○ **学生は校則を守らなければならない。**
べきだ 用在「講道理、陳述主張」，不用於校規這種早已明文規定的事；規定要遵守用 なければならない。

自己輸出：用 ものだ・というものだ・にすぎない・にほかならない・に越したことはない・しかない／よりほかない・べきだ／べきではない 各寫一句。可寫一條人生道理、一句對某做法的評斷，或一個你認為大家應該／不應該做的主張。
